



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社サンクゼール 上場取引所 東  
コード番号 2937 URL <https://www.stcousair.co.jp/company>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 良太  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部 本部長 (氏名) 河原 誠一 (TEL) 026-219-3902  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,806	—	502	—	555	—	364	—
2023年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 364百万円( —%) 2023年3月期第1四半期 ー百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 40.08	円 銭 38.84
2023年3月期第1四半期	—	—

(注) 2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 9,336	百万円 4,275	% 45.8
2023年3月期	9,174	4,226	46.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,273百万円 2023年3月期 4,223百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,711	10.3	1,681	5.1	1,661	2.5	1,096	3.5	118.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,106,200株	2023年3月期	9,068,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	9,085,813株	2023年3月期1Q	一株

(注) 2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)が5類感染症に見直され、消費は拡大傾向にありましたが、一方で、円安や物価高騰の状況が続いており、景気回復の鈍化が懸念される状況にあります。

食品製造及び食品小売業界におきましても、円安や原料価格の高騰を背景に食品価格の値上げが継続的に実施されており、消費者の経済的負担の高まりによる消費低迷が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況において、当社は「愛と喜びのある食卓をいつまでも」というコーポレート・スローガンを掲げ、お客様の食卓に彩りを与え、お客様に満足いただける商品やサービスの提供に注力してまいりました。今後もお客様の声に徹底的に耳を傾け、お客様のニーズを起点とした商品やサービスを提供することにより、多くのお客様に当社のファンになっていただけるように、取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間において、B to Cの販売チャネルである店舗(直営・FC)及びECに関しては、4月に全国放映のテレビ番組に取り上げられたことをきっかけに、売上が増加いたしました。既存店(注)客数に関しては、前述のテレビ放映の影響による増加があった一方で、コロナの5類感染症への見直しにより、外食及び旅行需要の増加という消費動向の変化が見られたことで、5月以降はやや減少する結果となったことから、前年同四半期比で+1.3%となりました。一方、既存店客単価に関しては、円安や原料価格高騰の影響を受けて、前連結会計年度の第2四半期にあたる2022年9月に販売価格の値上げを行い、その後も原料価格の動向に合わせて継続して値上げを実施したことにより、前年同四半期比で+9.1%となりました。

(注)当社グループでは、開店後18か月以上経過している店舗を「既存店」として客単価及び客数を集計しております。

B to Bの販売チャネルであるホールセールやグローバルに関しては、既存の主要取引先である大手小売チェーンに対する売上が増加し、いずれのチャネルも売上が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上が4,806,138千円となりました。営業損益は、主として売上が増加したことに伴い、502,632千円の営業利益となりました。経常損益は、為替差益57,587千円などの営業外収益61,630千円を計上した一方で、支払利息9,020千円などの営業外費用9,205千円を計上したことにより、555,056千円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、税金費用190,851千円を計上したことにより、364,188千円の親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。なお、当社は、2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

出店政策に関しましては、当社グループでは、商圏人口、賃貸条件、ROI C等の指標を総合的に勘案し、新規出店を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、「久世福商店」業態で4店舗を新規出店いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末における店舗は直営店51店舗、FC加盟店111店舗、計162店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間における業態別の店舗数は以下のとおりです。

業態名	区分	前第1四半期 連結会計期間 末	前連結会計 年度末	増加	減少	当第1四半期 連結会計期間 末
サンクゼール	直営店	11	12	-	-	12
	F C加盟店	4	4	-	-	4
	計	15	16	-	-	16
久世福商店	直営店	41	39	-	-	39
	F C加盟店	94	103	4	-	107
	計	135	142	4	-	146
全業態合計	直営店	52	51	-	-	51
	F C加盟店	98	107	4	-	111
	計	150	158	4	-	162

当社グループは、食品製造販売事業を単一の事業セグメントとしているため、セグメント情報の開示は省略しております。

当第1四半期連結累計期間におけるサービス別の売上高は以下のとおりです。

区分	売上高 (千円)	前年同期比増減率 (注)
直営	1,599,483	+7.2%
F C	1,864,836	+20.6%
E C	296,048	+15.3%
ホールセール	859,861	+15.4%
グローバル	185,908	+17.8%
計	4,806,138	+14.5%

(注) 前年同期比増減率は、未監査の参考値と比較した増減率であります。

#### ① 直営

当第1四半期連結累計期間における直営店の既存店客数及び客単価は、前年同四半期を上回って推移いたしました。一方、当第1四半期連結累計期間において直営店の新規出店は無く、また、前連結会計年度の第4四半期に当たる2023年3月に直営店4店舗をF Cへ譲渡したことで、前第1四半期連結累計期間と比較して当第1四半期連結累計期間の直営店の店舗数は減少しております。その結果、当第1四半期連結累計期間の直営売上高は1,599,483千円となり、前年同期比で+7.2%の増加となりました。

#### ② F C

当第1四半期連結累計期間におけるF Cの既存店客数及び客単価は、前年同四半期を上回って推移いたしました。前連結会計年度の第4四半期に当たる2023年3月に直営店4店舗をF Cへ譲渡したことに加え、現在は新規出店の多くがF Cによる出店であることから、当第1四半期連結会計期間末のF C加盟店の店舗数は、111店舗となり、前第1四半期連結会計期間末と比較して13店舗増加しております。その結果、当第1四半期連結累計期間のF C売上高は1,864,836千円となり、前年同期比で+20.6%の増加となりました。

#### ③ E C

E Cにおいては、アプリやE Cサイトを通じて継続的にブランドのファンであるお客様の拡大に努めており、前述の全国放映のテレビ番組への露出効果も奏功し、E Cの利用者数が継続して増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間のE C売上高は296,048千円となり、前年同期比で+15.3%の増加となりました。

#### ④ ホールセール

当第1四半期連結累計期間におきましては、大手小売チェーンとの取引が継続して拡大いたしました。その

結果、ホールセール売上高は859,861千円となり、前年同期比で+15.4%の増加となりました。

⑤ グローバル

グローバルの売上高は、前連結会計年度と同様に、米国及び台湾における売上高が大部分を占めております。米国における大手小売チェーンに対する売上が減少する一方で、台湾の大手小売チェーンに対する売上が増加した結果、グローバル売上高は185,908千円となり、前年同期比で+17.8%の増加となりました。

国別の内訳は、米国顧客への売上高が105,575千円、台湾顧客への売上高が66,937千円、その他の地域への売上高が13,395千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,336,719千円となり、前連結会計年度末に比べ162,281千円増加いたしました。これは、売上増加に対応するため商品及び製品が234,439千円増加したこと等によるものであります。

負債は5,060,829千円となり、前連結会計年度末に比べ112,403千円増加いたしました。これは、法人税等の支払に充当すること等を目的に短期借入金が267,437千円増加したこと等によるものであります。

純資産の部に関しては、親会社株主に帰属する四半期純利益364,188千円や剰余金の配当317,387千円の計上により、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ46,801千円増加いたしました。その結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ49,195千円増加し4,162,936千円となり、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ49,877千円増加し4,275,889千円となりました。なお、この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に発表した通期の業績予想から、現時点で変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,317,671	3,411,039
売掛金	1,728,233	1,591,799
商品及び製品	1,234,512	1,468,951
仕掛品	90,517	92,776
原材料及び貯蔵品	310,701	338,464
その他	132,815	110,611
貸倒引当金	△92	△74
流動資産合計	6,814,358	7,013,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,148,275	2,152,776
減価償却累計額	△1,427,495	△1,453,113
建物及び構築物 (純額)	720,780	699,663
その他	1,603,541	1,619,458
減価償却累計額	△753,883	△777,937
その他 (純額)	849,658	841,520
有形固定資産合計	1,570,439	1,541,183
無形固定資産		
のれん	102,459	97,152
その他	32,187	31,498
無形固定資産合計	134,647	128,651
投資その他の資産		
その他	656,168	654,492
貸倒引当金	△1,176	△1,176
投資その他の資産合計	654,992	653,315
固定資産合計	2,360,079	2,323,150
資産合計	9,174,438	9,336,719



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,328,604	1,285,091
電子記録債務	128,687	153,640
短期借入金	662,591	930,029
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	160,297	165,676
未払法人税等	464,428	210,360
賞与引当金	85,382	128,700
役員賞与引当金	18,340	4,434
資産除去債務	9,000	9,000
その他	685,731	802,415
流動負債合計	3,643,064	3,789,347
固定負債		
長期借入金	908,474	870,994
退職給付に係る負債	68,174	73,280
資産除去債務	129,241	129,275
その他	199,470	197,931
固定負債合計	1,305,361	1,271,482
負債合計	4,948,426	5,060,829
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,127,115	1,128,315
資本剰余金	1,292,086	1,293,281
利益剰余金	1,694,538	1,741,339
株主資本合計	4,113,740	4,162,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,949	8,989
為替換算調整勘定	111,550	101,275
その他の包括利益累計額合計	109,600	110,265
非支配株主持分	2,670	2,687
純資産合計	4,226,011	4,275,889
負債純資産合計	9,174,438	9,336,719

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,806,138
売上原価	2,872,584
売上総利益	1,933,554
販売費及び一般管理費	1,430,922
営業利益	502,632
営業外収益	
受取利息	10
為替差益	57,587
その他	4,032
営業外収益合計	61,630
営業外費用	
支払利息	9,020
その他	185
営業外費用合計	9,205
経常利益	555,056
税金等調整前四半期純利益	555,056
法人税、住民税及び事業税	189,039
法人税等調整額	1,812
法人税等合計	190,851
四半期純利益	364,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,188

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	364,205
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	10,939
為替換算調整勘定	△10,274
その他の包括利益合計	664
四半期包括利益	364,870
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	364,853
非支配株主に係る四半期包括利益	16

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社連結子会社であるSt.Cousair, Inc. (所在地: 米国オレゴン州 以下、「SCI」という。)は、Portlandia Foods, Inc. (米国オレゴン州 以下、「Portlandia」という。)から同社ブランドを含む加工食品販売事業を譲り受けることに関し、2023年6月2日付で同社と事業譲渡契約を締結いたしました。

## (1) 事業譲受の概要

## ① 相手先企業の名称及び取得した事業の内容

相手先企業の名称 Portlandia Foods, Inc.

取得した事業の内容 加工食品販売事業

## ② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、成長著しいグローバル市場での販売を戦略上の重点項目に位置付けており、中でも世界的にも大きな加工食品市場が存在する米国は、グローバル販売の主軸となる市場であります。米国オレゴン州に所在するSCIは、販売機能だけでなく、商品開発機能や自社工場を有しており、米国工場で製造した製品や日本から輸入した商品をKuze Fuku & Sonsという自社ブランドで販売しております。そして、SCIの米国展開に関して、従来のKuze Fuku & Sonsによる日本食ブランドの展開に加え、米国メインストリームのカテゴリーにある食品ブランドを傘下に持ち、より強固な事業ポートフォリオを構築することで、米国事業のさらなる成長につながると判断し、Portlandiaの事業を譲り受けることを決定いたしました。

Portlandiaは、米国オレゴン州で自社ブランドのケチャップやマスタード等の加工食品を販売する事業を展開しており、主な顧客は、地元の食品スーパーマーケットやハンバーガーチェーン店等であります。Portlandiaの主力商品であるケチャップやマスタード等は、オーガニック素材で作られている商品であり、健康志向のお客様に受け入れられているほか、地元地域の美しい写真を使用したデザインのラベルが施された商品は、地元地域の食品スーパーマーケットで多くのお客様に親しまれています。

本事業譲受により、SCIはPortlandiaの販路を獲得できるとともに、SCI工場でPortlandia製品を製造することにより工場の生産性を高めることができます。これらのシナジーを享受することで、当社グループの企業価値向上に資するものと判断しております。

## ③ 企業結合日

2023年6月9日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

## ⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社連結子会社であるSt.Cousair, Inc. (第1四半期末は3月31日)が現金を対価として事業を譲り受けるためであります。

## (2) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	489,195千円	(3,500千米ドル)
取得原価		489,195千円	(3,500千米ドル)

(注) 為替レートは、株式会社三菱UFJ銀行公表の2023年5月31日の最終公表相場であるTTSとTTBの平均値（1米ドル=139.77円）を用いて換算しております。

- (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額  
現時点では確定しておりません。
- (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
- (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳  
現時点では確定しておりません。